

てしま 香川県豊島の「汚染土壌」持ち込むな！ あいつぐ住民集会

集会に参加した岸本市議は、平成21年6月の議会で、山崎砂利に、汚染土壌処理施設として許可をおろす前に、和邇川下流域で農業を行っている地域などの住民に事前説明と合意を得ることを求めたにもかかわらず



豊島の産廃下にある汚染土壌を、伊香立途中の山崎砂利商店で処理される計画があることについて、多くの住民が不安を抱えています。

1月23日には、真野北部・上龍華・和邇北浜の3土地改良区主催で、香川県と大津市の担当課、山崎砂利商店を呼び、住民説明会が開かれました。農業関係者以外に約100名の住民も参加。関心の深さが示されました。

「水を使う農業団体として水質の有害物質・重金属の汚染は許されない」

「近畿1400万人の水源・びわ湖は汚せない」など怒りの声が噴出。

2月定例市議会が始まります。
ご意見、ご要望お寄せください。

- 2/20(月) 開会、請願・陳情×切
- 2/22(水) 一般質問通告×切
- 2/27(月) 各派代表質問
- 2/28(火)～3/2(金) 一般質問
- 3/5(月)～8(木) 予算特別委員会
分科会
- 3/9(金) 常任委員会
- 3/13(火) 予算特別委員会全体会
- 3/14(水) 特別委員会
- 3/16(金) 閉会

伊香立学区自治連合会では、1月29日、地元で住民集会(約130人)を開き、汚染土壌搬入反対の決議をされています。

運動と世論を広げて計画を撤回させようではありませんか。

香川県や大津市は、「法に基づいて対応している。現段階で許可の取り消しは考えていない」と回答。

ず、実施されなかったことなどを指摘し、事業者に対し、周辺住民の合意を得るまでは汚染土壌の処理を行わないこと、大津市に事業の許可の凍結を求めました。

大津市長選挙では、残念ながら、日本共産党が推す、ひがし昌子さんを市政へ送ることができませんでした。しかし、ひがし昌子さんの被災地への医療支援や、25年の地域医療の体験にもとづき、「脱原発宣言、福祉都市宣言」に示した、市民の暮らしを守りぬく「アツの処方箋」、70万や消費税増税反対というキツパリした政治姿勢は、市民のみなさんのこころを揺り動かす、共同の輪を大きく広げました。

ご支援いただきましたみなさん、心から感謝申し上げます。

この選挙戦とおして、大津北部の、仰木の里東の幸福の科学学園建設問題、伊香立に持ち込まれようとする豊島の汚染土壌問題、巡回バスや9号駅にエレベーターの設置問題などこれまでのみみなさんの運動の広がり、他の候補も無視できなくなりました。

この間、私が一生懸命訴え続けてきた中学校給食も、他候補も公約にあげざるを得ませんでした。しかし、私たちがめざすのは、新市長の公約であった、希望者のみに配達される弁当ではなく、食育を基本にした自校方式の完全給食です。

これからも、みなさんと力あわせて、要求実現に全力を尽くします。

2012年2月

大津市会議員 岸本のり子



こんにちは 岸本のり子です

発行 日本共産党
大津湖西地区委員会
連絡先 日本共産党大津市会議員
岸本のり子
大津市和邇春日2丁目
ケイタイ 080031163877

2012. 2 / 5
No. 114

日本共産党